

会議議事録

会議名	2025年度 学校関係者評価委員会	
開催日時	2026年5月26日(火) 10:00~12:00	
会場	横浜ベルエポック美容専門学校 703教室	
参加者	委員 (8名)	(参加者) 高等学校代表：森 章 様 地域代表：金子 美紀 様 業界代表：深澤 正義 様 鯨岡 有樹 様 保護者代表：根岸 信佳 様 小坂 美香 様 卒業生代表：鈴木 峻麻 様 松本 江里子 様
	事務局 (6名)	学校長：小峯 千代子 運営本部長：岩村 勇 運営副本部長/事務局長：今井 リカ 事務局次長/ヘアメイク科学科長：黒崎 洋平 教務部・キャリアセンター：高橋 圭 学生サービスセンター：森 幸代 (欠席) 美容師科・ヘアメイク科 学部長 神谷 明日香
会議録	<p>1. 開催挨拶 運営本部長より開会の挨拶があり、本委員会は職業実践専門課程の認定要件として実施するだけでなく、委員からの率直な意見を学校運営や教育活動の改善につなげることを目的としている旨の説明があった。また、委員会でいただいた意見を改善に反映し、その成果を次回委員会で報告するという継続的な改善サイクルを大切にしたいとの考えが示された。</p> <p>2. 委員紹介並びに学校関係出席者紹介 委員及び学校関係出席者による自己紹介を行った。</p> <p>3. 本委員会趣旨説明 本委員会では、本校が目指す人材育成像に基づき、教育課程及び教育活動が業界のニーズに即した内容となっているかについて、委員から意見及び評価をいただくことを目的としていることを説明した。</p> <p>また、学園理念である「職業教育を通じて社会に貢献する」を実現するため、業界・地域との連携を強化し、最新の知識・技術を教育内容に反映していく方針を説明した。</p>	

4. 2025 年度 自己点検・自己評価結果と学校運営並びに教育活動に関する報告

学校概要及び 2025 年度事業計画について説明を行った。

自己点検・自己評価の結果、教育体制、組織運営、教職員研修、情報公開、地域連携等については概ね計画どおりに推進できていることを報告した。

学生募集については、事業計画を上回る入学者数を確保することができた。

一方で、退学率及び進級率について課題があり、学生へのグループインタビュー等を通じて要因分析を進めていることを報告した。

また、学生一人ひとりの価値観や成長段階に応じた教育課程への見直し、ICT を活用した教育環境整備、対話を重視した教育活動、スクールカウンセラーによる支援体制の充実及び教職員研修の強化に取り組んでいることを説明した。

地域連携活動については、地域イベントへの参画等を通じ、学生の社会性や職業観を育む機会の創出に努めていることを報告した。

5. 2026 年度重点目標の説明

学校より 2026 年度重点目標について説明を行った。

6. 質疑応答・意見交換

委員へ、

- ①採用にあたって資質として求めること
 - ②学校で身に付けておいてほしい力
 - ③人材育成における課題
- の 3 点について意見を求めた。

委員からの主な意見

- ① 資質として求めること
 - ・ 礼儀・挨拶など社会人としての基本姿勢
 - ・ 素直さ、人間性、自ら考え行動する主体性
 - ・ 失敗を成長につなげる学習能力と忍耐力
 - ・ 他責ではなく自責の考え方
 - ・ 人に喜んでもらうことにやりがいを感じられる姿勢
 - ・ 社会に貢献したいという思い
- ② 学校で身に付けておいてほしい力
 - ・ 基礎的な知識・技術及び専門用語の理解
 - ・ 社会人基礎力、時間管理、自己管理能力
 - ・ コミュニケーション能力及び対話力
 - ・ 主体的に考え、課題解決に取り組む力

- ・自己理解を深め、自分に合ったキャリアを考える力
- ・地域活動や業界との交流を通じた幅広い職業観

③ 人材育成における課題

- ・学校と業界における「即戦力」の認識共有
- ・学生の多様な価値観や成長段階に応じた教育
- ・自己理解、自立心、主体性を育む教育の充実
- ・学生との信頼関係を基盤とした対話機会の充実
- ・企業及び地域社会との連携強化

(2) 質疑応答

【質問1】

退学者減少に向けた取組について

学校より、退学者数を減らすこと自体ではなく、入学した学生を一人でも多く美容業界へ送り出すことを目的としていることを説明した。

学生インタビュー等を通じて不安要因の分析を進めており、学生の価値観に応じた教育課程の見直し、ICT教育環境の整備、対話型教育の推進に取り組んでいることを報告した。

【質問2】

外国籍学生への支援について

学校より、日本語教育への理解を深めるため教職員研修等を進めていること、外国籍学生にも理解しやすい授業づくりは全学生にとって分かりやすい教育につながるという考えのもと、教育方法の改善に取り組んでいることを説明した。

7. 事務連絡

事務局より、評価表及び意見書の提出依頼等について連絡を行い、閉会した。